独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization
MEDICAL URESHINO CENTER

2010.6

うれしの

第24号

【発行所】
嬉野医療センター
佐賀県嬉野市嬉野町
大字下宿丙2436番地

「梅雨嬉し」

患者さんの権利

1 安全で、かつ平等な最善の医療を受ける権利
2 疾患の治療等に必要な情報を得、また教育を受ける権利
3 治療法を自由に選択し、決定する権利
4 プライバシーが守られる権利
5 常に人としての尊厳を守られる権利
6 医療上の苦情を申し立てる権利
7 継続して一貫した医療を受ける権利
8 生活の質（QOL）や生活背景に配慮された医療を受ける権利

CONTENTS

2 新任の挨拶／「三方善し」の精神で
3 マンモグラフィCR読みとり装置が更新されて
4 自動血液分注搬送装置の導入
5 がん化学療法看護認定教育課程の研修を修了して
5 第５８回生 入学式
6 韓国国立ソウル医療院が視察
7 第３回地域母子保健セミナーを終えて
8 外来診療担当医表／編集後記

基本理念「信頼と心のゆとり」

新任の挨拶

薬剤科長　河北和彦

この度、４月１日付で当院に赴任いたしました薬剤科長の河北と申します。よろしくお願いいたします。

赴任初日、正門から玄関にかけて続く桜並木の光景に緊張気味の中にも癒しの空間を見つけると同時に今から始まる新たな病院での仕事に身が引き締まる思いでした。

思い起こせば、北は対馬から南は沖縄までを周り、ついに当院で 11 カ所目の施設となりました。このような出会いと別れの中で学んだことは、それぞれの病院の理念でした。

“病む人の立場を・・・”から始まって、“信頼と心のゆとり”と、その全てが人を思いやる心から発していると考えます。

相手を思いやってこそ、そこに信頼が生まれ、心にもゆとり生まれると思います。当院の基本理念である“信頼と心のゆとり”の精神で薬剤科を信頼と思いやりのある職場にしていきたいと考えております。

“薬はリスク”とか“薬は両刃の刃”などよく言われますがこのように２面性を持ち備えたものは、管理次第でプラスにもなればマイナスにもなります。我々薬剤師はこの２面性のある薬を通して、その結果がプラスに傾くように方向性をつけるのが我々薬剤師の責務です。

昨今の薬剤師の業務は多域にわたり展開してきています。調剤技術のみならず適切な医薬品情報の提供を基盤とし、服薬指導による副作用防止、薬物相互作用、重複・過量投与の防止など安全のための薬剤師業務を展開したいと思います。その為にも他部門のスタッフの皆様方のより良い知恵を頂きながら、そして連携しながらこれらさまざまな業務に取り組んでいきたいと思います。

“薬あるところに薬剤師あり”の精神で取り組みます。

どうぞよろしくお願いいたします。

「三方善し」の精神で

事務部長　重松和俊

「三方善し」と言う言葉をご存じでしょうか？近江商人の言葉らしいのですが、商売人は「お客様のために善し」「世の中のために善し」「自分のために善し」という順番を必ず守るという教えです。つまり、顧客に喜ばれ、社会に貢献し、それがやがて利益となって自分に返ってくるということです。

私たちの機構病院はむやみやたらと利益を出す事業体ではありませんが、この言葉と相通ずるところがあります。利益となって返ってくるところが、信頼となって返ってくるということではないでしょうか？当院の基本理念で謳われている「信頼」という言葉もそういうことではないかと思っています。よろしくお願いいたします。

マンモグラフィCR読みとり装置が更新されて「マンモグラフィ検診施設画像認定」取得を目標に

昨年、11月にCR読みとり装置(FujiFilm FCR Profect CS)が増設され、マンモグラフィの画質向上および「マンモグラフィ検診施設画像認定」の画像評価基準(フィルム上、画像情報上に撮影情報、撮影条件が印字もしくは、添付)の要件を満たせるようになりました。

「マンモグラフィ検診施設画像認定」について簡単に説明しますとマンモグラフィ検診に関係する6団体が参加したマンモグラフィ検診の精度管理について検討し、医師・放射線技師や検診実施機関・精密検査実施機関、一般住民や患者団体に対して、教育研修・評価認定事業、検診啓発事業、患者団体との連携等の事業を全国規模で行い、本邦における精度の高いマンモグラフィ検診の普及、ひいては乳癌死亡数低下のために寄与することを目的とする法人(マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)が認定を行います。その法人の認定事業には、読影部門における「検診マンモグラフィ読影認定医師」と撮影部門における「検診マンモグラフィ撮影認定放射線技師・医師」と施設画像認定部門における「マンモグラフィ検診施設画像認定」の3部門があります。

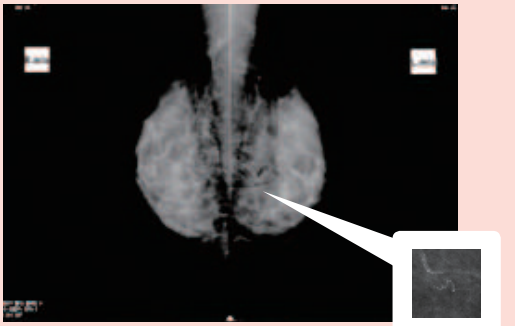
マンモグラフィの画質は、CR装置の更新で読みとりピッチが細かくなったことやディジタル画像の画像処理方法の向上により模擬繊維試料、模擬石灰化試料、模擬腫瘤試料の検出能が大幅に向上しました。マンモグラフィの腫瘍や石灰化の検出能が上がり検査精度が大幅に改善しました。

現在、読影認定医師、撮影認定技師は、取得者がいます。装置の更新により施設画像認定の取得が出来る環境になりましたので今後、認定に必要な臨床画像の蓄積と画像の品質管理を行い、認定を取得してがん診療連携拠点病院としての一端を担っていければと思います。

(文責：放射線科 井上行男)

マンモグラフィ撮影装置
島津 Sepio

画像読みとり装置(更新)
FUJIFILM PROFECT CS



微小石灰化
マンモグラフィ (MLO)

50μの高精細スキャンと両面画像読取により、高解像度を実現し以前より微小石灰化を鮮明に描出できます。

自動血液分注搬送装置の導入

ー採血量が減り患者様にはよりやさしい検査になりましたー

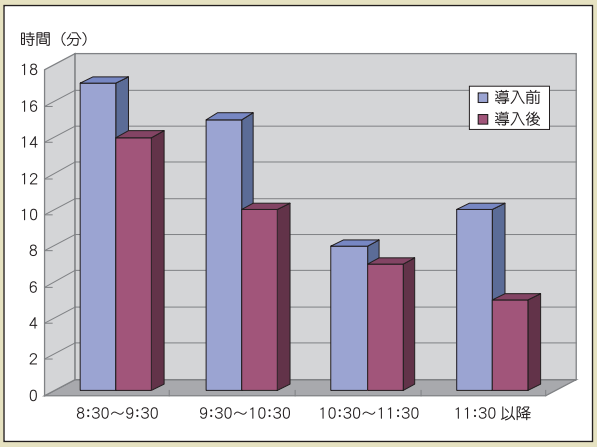
臨床検査技師長　諸隈　博

血液検査は、病院で行われる検査の中でも最も重要な検査の一つであり、診断や治療のためには必須の検査です。しかしながら、血液検査のために行う採血は患者様にとっては時に大きな負担を感じさせる行為となります。そのため、その負担を軽減し検査を気持ちよく受けてもらうためには、採血量を少なくし、検査にかかる時間を短縮することが必要です。当院では、平成 22 年 2 月 15 日より、自動血液分注搬送装置 (1) を導入し採血管本数を大幅に減らすことができるようになりました。これによって、患者様により優しく、そして安心して採血を受けていただけるようになったと思っております。今回、この装置の特徴とその導入による待合所要時間の変化について少しご紹介致します。

新しく導入された自動分注装置は、少ない血液量 (親検体) で、十分な数の目的別子検体を作成することができるため、従来最大で 4 本の採血管が必要であったものが、1 本ですむようになりました (2)。また、受付から採血終了までの待合所要時間を自動分注装置導入前と導入後で比較してみますと、結果はグラフ (3) のように、いずれの時間帯においても導入前より導入後の方が、明らかに時間が短縮しておりました。これは最長待合時間、最短待合時間においても同様でありました。“採血はちょっと怖い”、“たくさん血を採られるのは嫌だな” って思われていた患者様、もうその心配は少なくなりました。そして、採血を行う看護師の皆さんにも、少しだけ採血業務が楽になったかな？って感じていただけると思っています。私ども臨床検査科は、患者様への思いやりとサービスは勿論のこと、院内スタッフの皆様にも気持ちよく仕事をしていただけるように業務改善を重ね、人にやさしい病院づくりに努力していきたいと思っております。

1．自動血液分注搬送装置

2．採血管の減数



3．待合所要時間

がん化学療法看護認定教育課程の研修を修了して

西３病棟　井手千佳子

日本人の２人に１人はがんに罹患する時代で、死因のトップは「がん」です。がんは手強い相手ですが、がんをめぐる診断や治療の進歩はめざましく、とくに早い段階で治療を始めた場合、５年生存率が 90% 超えるがんも珍しくありません。これまで多くのがんと診断を受け治療を受ける方々と関わり、看護ケアを行う中、様々な状況に遭遇してきました。がんとの付き合い方や人生において大切にしているものは患者によって違い、その中で治療の不確かさ、意思決定の難しさ、予後告知の問題に、患者・家族の気持ちは大きく揺れ、苦悩されます。がんと共に「生きる」ことに悩んだり、苦しんだりしている患者のサポートをどうしてよいのか、その答えを見つけるために、がん化学療法看護認定看護師候補生となることを目指し、昨年６月から半年間、久留米大学認定看護師教育センターでがん化学療法看護に関して深く学ぶ機会を得ました。化学療法を受ける方とその家族が安心して生活ができるように専門的な看護を実践するための学習として、腫瘍学の基礎から学び、抗がん剤に関する内容など専門的な知識をはじめ、倫理的問題、人間関係を築くコミュニケーションスキルなど幅広く学ぶことができました。がんと告知を受け治療を勧められても自分にとって何が利益で何が不利益か、一度説明を受けたからといって十分に理解できる内容ではありません。その方が置かれている現状を知り、何がその方にとって利益なのかを話し合いながら見出す必要性がいかに大事であるかを考えさせられました。学習していく中で、認定看護師を目指す者として、共に働く看護スタッフからの相談を受け、実践、指導を積極的に行い病院全体の看護の質が向上することを目標に活動しなければならないと強く感じました。今まさにがん治療に挑んでいる方々に対して、今まで見出せなかった看護ケアに目を向けサポートできるように半年間の貴重な学びを基盤とし、これからのスタートにしたいと思います。

第58回生 入学式

平成 22 年 4 月 8 日（木）、看護学校体育館で「第 58 回生入学式」が挙行されました。今年は 41 名の新入生を迎えることができました。第 58 回生 3 名からの豊富をお届けします。

第 58 回生　指方　知美

この学校に入学して１ヵ月が経ちました。充実した学習環境の下、「患者様の気持ちに配慮できる看護師」を目指して毎日頑張っています。

これから３年間大変だと思いますが、私という存在が患者様にとって生きる力となれるよう、これからも頑張っていきたいです。

第 58 回生　西野　聖菜

「誰かの心の支えになる仕事がしたい。」私が看護師を目指したきっかけです。入学して１ヵ月が経ち、看護に対する想いも日々深まっています。３年後、今以上に成長し、素敵な看護師になれるようこれから努力したいと思います。

第 58 回生　山岡　勇介

私は患者様の気持ちが分かる看護師になりたいと思っています。そのために、患者様の思いを汲み取り察することの大切さを学び、看護技術も身につけていきたいです。

韓国国立ソウル医療院が視察

去る5月12日（水）の午前に、かねてより訪問希望のあった韓国ソウル医療院から副院長先生他25名の医師、看護師、事務職の方々が視察に来られました。

一行は、宿泊先の島原を朝早く出て、午前9時40分頃バスにて当院へ来られましたが、疲れた様子もなく、同じ医療人ということなのか興味津々に病院内を見学されました。

最初に大会議室にて、河部副院長先生から当院の概況と、独立行政法人について説明が約20分ほど行われ、そのあと意見交換を行いました。韓国の首都であるソウルの人口は約13,000千人であること、国立ソウル医療院は病床数が500床で総職員数は700名、医師は140名、看護師数は当院とほぼ変わらないことなど和気相合と話は進みましたが、1日の外来患者数が1,200名であることが分かると、当院の職員の目が一瞬「点」になりました。

このあと、全員でCCU、SCU、ICUの順に施設を見て回り、どういう患者が入院しているのか、どういう医療機器を使用しているのかなど熱心に質問されていました。国の違いはあるものの、同じ医療人として同じ目標に向かっていることに違いはなく、言葉は分からなくても身振り、手振りで通じ合うものがあったようです。予定の1時間が終了する頃には話も弾み物足りなさを感じるくらいでした。

今回の受け入れには裏話があり、最初に話を受けたのは昨年の6月か7月頃だったと思いますが、世間は新型インフルエンザ流行の真っ直中で、そのこともあり視察話が2転3転した結果、今回の受け入れとなったのです。

最後に、国立ソウル医療院の今後益々のご発展を祈念します。

（文責：管理課長）

第３回 地域母子保健セミナーを終えて

母乳育児推進委員　山下直子、青木恒子

第３回目は２月３日「骨盤ケアの実際」というテーマで当センターの助産師（西３病棟 江崎美津子）が担当し、講義と実技の一部を紹介しました。

今回の内容は、妊娠すると何故骨盤は緩むのかという解剖学的知識から、妊娠中や分娩時のケアの実際、又、赤ちゃんの体の歪みへの影響など多方面にわたり、学びが深められたと思います。

今回は、総参加者 39 名で、他施設より 17 名の参加があり、開業産婦人科の助産師や看護師及び地域保健師の方々の関心の高さを実感しました。他施設では骨盤ケアを取り入れている所がほとんどなく、必要性を実感し、参考になったというご意見を多数頂きました。

地域との連携に向けてメッセージが発信できつつあると感じています。

昨年、BFH「赤ちゃんにやさしい病院」に認定されて以来、BFHI としての任務を果たすべく、母乳育児支援を基盤に今後もセミナーを活性化させていきたいと考えておりますので、これからもご支援、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

記　事　募　集

広報誌の記事を募集します。研修会の開催、機器の新規導入など身近な話題から色々な情報提供 etc・・・・・

400 字～ 1200 字程度の文章と、できましたら写真も付けて、管理課庶務係長へお出しください。よろしくお願いいたします。

広報委員会委員長

嬉野医療センター・外来診療担当医表

区分		月	火	水	木	金
呼吸器内科	午前	副島　佳文 澤井　豊光	中野　浩文	副島　佳文 峰松明日香	澤井　豊光	中野　浩文 峰松明日香
消化器内科	午前	吉田　亮（消化管） 藤瀬　剛弘（消化管） 川副　広明（肝臓）	鶴田　英夫（消化管） 有尾　啓介（肝臓）	福田　浩子（消化管） 吉田　亮（消化管）	鶴田　英夫（消化管） 藤瀬　剛弘（消化管） 有尾　啓介（肝臓）	福田　浩子（消化管） 川副　広明（肝臓）
循環器内科	午前	山方　勇樹 二宮　暁代	室屋　隆浩	二宮　暁代	室屋　隆浩 二宮暁代（ペースメーカー）	山方　勇樹
心臓血管外科	午前		力武　一久 大西　裕幸			力武　一久 大西　裕幸
糖尿・腎臓内科	午前	森口　由香	田中　史子 森口　由香	森口　由香	田中　史子 森口　由香	河部庸次郎 森口　由香
リウマチ科	午前	河部庸次郎		荒武弘一朗	荒武弘一朗	田中　史子
神経内科	午前			溝田　貴光		溝田　貴光
腎臓内科	午前		中沢将之（整形で診察）		中沢将之（整形で診察）	
小児科	午前	小野　晋康	川内　恵美	佐藤　忠司	西　奈津子 平原　恵子	西村　真二 阿部　淳
	午後	佐藤　忠司 小野　晋康 （診察 14：00 ～ 16：00）	乳児検診（完全予約制） （診察 14：00 ～ 16：00）	小児神経　第３水曜 （診察 14：00 ～ 16：00） 循環器外来　第 1・3 水曜 （診察 13：00 ～ 16：00）	小児腎臓外来　第２木曜 内分泌外来　第３木曜 小児アレルギー第４木曜 （診察 14：00 ～ 16：00）	小野　晋康 小児神経　第２金曜 （診察 14：00 ～ 16：00）
外科	午前	岡　忠之 ①②④	古川　克郎 ①②④	黛　和夫 ①③	柴崎　信一 ①③	和田　英雄 富永　哲郎 ①③
	午後	岡 忠之・古川克郎（乳腺外来） （受付 13時半～15時）（完全予約制）				
整形外科	午前	村田　雅和 森口　昇 橋本　哲	塚本　正紹 島内誠一郎 田浦　智之	古市　格 村田　雅和 島内誠一郎	塚本　正紹 森口　昇	古市　格 田浦　智之 橋本　哲
脳神経外科	午前	上坂十四夫	宮園　正之		宮園　正之	
皮膚科	午前	大仁田亜紀（新患） 大久保佑美（再来）	大久保佑美（新患） 大仁田亜紀（再来）	大仁田亜紀（新患） 大久保佑美（再来）	大久保佑美（新患） 大仁田亜紀（再来）	大仁田亜紀 大久保佑美
泌尿器科	午前	谷口　啓輔（再来） 青木　大勇（新患）	谷口　啓輔（新患） 青木　大勇（再来）		谷口　啓輔（新患） 青木　大勇（再来）	谷口　啓輔（再来） 青木　大勇（新患）
	午後		予約外来		予約外来	
婦人科	午前	村上　優子	藤原恵美子		一瀬　俊介	一瀬　俊介
産科	午前	藤原恵美子	一瀬　俊介	助産師外来（9 時～16 時） （完全予約制）	村上　優子	藤原恵美子
	午後	助産師外来（14 時～16 時） （完全予約制）			助産師外来（14 時～16 時） （完全予約制）	
眼科	午前	村田　和久（予約制）	特殊検査・特殊治療（予約制）	村田　和久（予約制）	村田　和久（予約制）	村田　和久（予約制）
	午後	予約外来 （特殊検査・特殊治療）	（手術）	予約外来 （特殊検査・特殊治療）	予約外来 （特殊検査・特殊治療）	予約外来 （特殊検査・特殊治療）
耳鼻咽喉科	午前	吉田　晴郎（再来） 畑地　憲輔（新患）	吉田　晴郎（新患） 畑地　憲輔（再来）		吉田　晴郎（再来） 畑地　憲輔（新患）	吉田　晴郎（新患） 畑地　憲輔（再来）
	午後			吉田　晴郎・畑地　憲輔 （診察 13：00 ～ 16：00）		
放射線科	午前	牧野　謙二 福井健一郎 福田　雅敏	牧野　謙二 福井健一郎 福田　雅敏	牧野　謙二 福井健一郎 福田　雅敏	牧野　謙二 福井健一郎 福田　雅敏	牧野　謙二 福井健一郎 福田　雅敏
麻酔科 （ペインクリニック）	午前	香月　亮 島川　勇介	香月　亮 島川　勇介	香月　亮 島川　勇介	香月　亮 島川　勇介	香月　亮 島川　勇介
救急科 （8：30～17：15）		吉田　昌人	吉田　昌人	吉田　昌人	吉田　昌人	吉田　昌人

ご紹介いただく患者様につきましては可能な限り事前予約をおとりいただきますようにお願い致します。
（当院の受付時間は、午前 8 時 30 分～午前 11 時 00 分迄です。）

特殊診療のご案内

内科系	第 2・第 4 木曜日はペースメーカー外来を行っています。
小児科	毎週月・金曜日の午後は一般外来を受け付けています。（受付 14 時～ 16 時） 毎週火曜日の午後は乳児健診（完全予約制）　■第 1・3 水曜日の午後は循環器外来（受付 13 時～ 16 時）★予約制 毎月第 3 木曜日の午後は内分泌外来（受付 13 時～ 16 時まで） 毎月第 2 金曜日、第 3 水曜日の午後は小児神経外来、（受付 14 時～ 16 時まで）★完全予約制 毎月第 4 木曜日の午後は小児アレルギー外来（受付 14 時～ 17 時まで）★完全予約制 毎月第 2 木曜日の午後は小児腎臓外来（受付時間 13 時～ 16 時）★予約制
外科	① 一般外科 ② 呼吸器外科 ③ 消化器外科 ④ 乳腺外科　■**毎週月曜日の午後は乳腺外来を行っております。（受付時間 13 時半～ 15 時）**
整形外科	ご紹介は整形外来宛でお願いします。救急患者については救急室にて対応しております。
泌尿器科	毎週火・木曜日の午後は、検査予約外来を行っています。
産婦人科	毎週月・木曜日の午後は母乳育児指導を受け付けています。（受付時間 13 時 30 分～ 15 時 30 分）
耳鼻科	毎週水曜日午後は一般外来を受け付けています。（受付時間 13 時～ 16 時） 毎月第 1・第 3 木曜日の午前及び毎週水曜日の午後は、補聴器外来を行っています。
麻酔科	ご紹介は月曜日でお願いします。救急の場合はこの限りではありません。

2010. 6. 1

編集後記

昨年のこの時期は、新型インフルエンザが流行し、どこへ出かけるにもマスクを付けたり、人混みは避けたりと大変な思いをしたことを思い出しますが、今年は宮崎県を中心とした家畜の口蹄疫が発生し、家畜農家の大変さが報道されています。

「備えあれば憂いなし」という言葉がありますが、これから梅雨に向かって大雨が降る時期になりますので、皆さんくれぐれも災害には遭わないよう注意してください。なお、作業の遅れから、今年もこの時期の発刊となったことをお詫びいたします。

編集委員

新人紹介

（H22.4.1 ～ 6.2）

医局

循環器内科医長

室屋　隆浩

小児科医長

西村　真二

呼吸器内科医師

中野　浩文

消化器内科医師

吉田　亮

消化器内科医師

福田　浩子

消化器内科医師

藤瀬　剛弘

循環器内科医師

二宮　暁代

小児科医師

阿部　淳

小児科医師

西　奈津子

外科医師

富永　哲郎

外科医師

和田　英雄

整形外科医師

田浦　智之

リハビリテーション科医師

島内誠一郎

心臓血管外科医師

大西　裕幸

眼科医師

村田　和久

耳鼻いんこう科医師

畑地　憲輔

麻酔科医師

中川内　章

神経内科レジデント

前田　泰宏

循環器内科レジデント

二宮登志子

循環器内科レジデント

徳島　圭宜

小児科レジデント

平原　恵子

整形外科レジデント

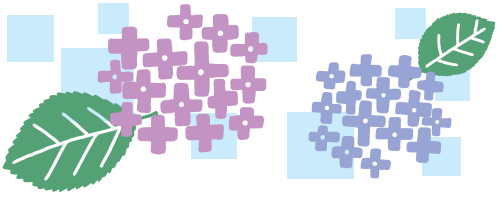
橋本　哲

救急科レジデント

福山　貴子

臨床研修医

髙比良飛香



看　護　部

手術室看護師長

副島みどり

西４病棟看護師長

富永　文子

東２病棟看護師長

前田富士子

西１病棟看護師

髙月　あい

西１病棟看護師

相川　千恵

西１病棟看護師

石橋　絵梨

西１病棟看護師

野村　真美

西２病棟看護師

鈴山志帆美

西２病棟看護師

田口　夏希

西２病棟看護師

中山由理奈

西２病棟看護師

渕上恵理子

西３病棟看護師

安藤　恵美

西３病棟看護師

宮本　加奈

西３病棟助産師

森　　純子

西３病棟助産師

橋口　恵子

西４病棟看護師

栗山　尚美

西４病棟看護師

樋口　理香

西４病棟看護師

甲斐　彩香

西４病棟看護師

田代祐美子

東１病棟看護師

島川美由紀

東１病棟看護師

小玉　佐紀

東１病棟看護師

坂口　汐美

東１病棟看護師

椎葉　香織

東２病棟看護師

今福　　幸

東２病棟看護師

寺井友紀子

東２病棟看護師

中尾　　梓

東２病棟看護師

櫨山　江美

東３病棟看護師

浦田　　葵

東３病棟看護師

杉山弥奈美

東３病棟看護師

副島かおり

東４病棟看護師

池田　美希

東４病棟看護師

落合　　翼

東４病棟看護師

田島　由貴

東４病棟看護師

粒﨑　晶子

５病棟看護師

大塚美智子

５病棟看護師

原口友理子

外来看護師

杉光　真弓

手術室看護師

黒島佳寿子

手術室看護師

大野友香理

外来非常勤看護師

齋藤　直美

外来非常勤看護師

大川内久里子

看護助手（手術室）

浦川　洋子

看護助手（西１病棟）

安藤つぎ子

看護助手（西２病棟）

樋渡真由美

看護助手（西３病棟）

田中　恭子

看護助手（西４病棟）

石橋　千春

病棟クラ−ク（西２病棟）

川内るみ子

事　務　部

事務部長

重松　和俊

経営企画係長

矢山　貴文

庶務係長

廣瀬　浩二

外来係長

床嶋　剛

契約係

本多　諒悟

事務助手（がん登録室）

佐藤　文子

医師事務作業補助員

鵜池　清美

医師事務作業補助員

松岡さとみ

医師事務作業補助員

副嶋　浩子

医師事務作業補助員

藤野今日子

臨床検査科

医化学主任

池田　　智

臨床検査技師

稲富　茉耶

薬剤科

薬剤科長

河北　和彦

調剤主任

中村　敦士

薬務主任

橋冨やよい

薬剤師

小林宇太郎

放射線科

診療放射線技師

村岡亜友美

診療放射線技師

水町　嘉宏

リハビリテーション科

理学療法士

白武　功児

栄養管理室

栄養管理室長

佐藤　恭子

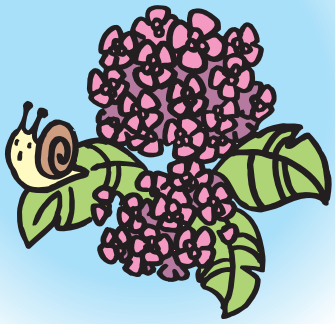
調理助手

坂口　泉

看護学校

教育主事

椙松由美子

教　員

長島　七